

## 復興から地域創生へ

ふるさといわて創造協議会 会長 岩瀬 明(岩手大学長)

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)がスタートしましたこと、うれしく存じます。参画機関は本学を含む8の高等教育機関、岩手県を含む17の自治体、8の経済・産業団体となりこれまでで最大の産学官連携といえます。東日本大震災から5年が経過し、岩手の次のターゲットは地方創生です。そのキーワードは生業の再生であり、イノベーションを担う人材を育成し、彼らを地域に定着させることが大きな目標となります。人材の定着には大学の努力だけではなく地域の企業が魅力的な企業になるための努力も必要です。まさに産学官が協力して人材育成を行うものです。地域の良さを十分に理解し、いわゆる地方に積極的に住むこと、そこ

でリーダーとして活躍することが望まれます。そのため本事業では産学官連携で大きくは4つのアクションを実施します。目標の学生の定着率10%アップは決して容易な目標ではありませんが、協力してこの目標を達成したいと考えております。ご協力宜しくお願いいたします。



## ふるさといわて創造プロジェクトとは

ふるさといわて創造プロジェクトは、今年度、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」に岩手大学が申請大学となり応募し、採択されたものです。

プロジェクトでは、岩手大学をはじめとした県内外の8の高等教育機関、17の自治体、8の経済・産業団体が事業協働機関として参画し、教育カリキュラムを整備するとともに、地域での活動を通じて学生の岩手県内就職率の増加を図ります。

教育カリキュラムでは、各高等教育機関がそれぞれの特色を活かし、地域を志向し

た科目を整備し、①「いわてを知り、理解する力」(情報収集力、理解力)、②「いわてを説明する力」(発信力)、③「いわてをつなぐ力」(コミュニケーション力、組織力、実践力)、④「いわての未来を創造する力」(課題解決力、企画力、行動力、創造力)の4つの能力を備えた人材(=いわて創造人材)を育成します。

地域での活動では、①若者・女性の地域定着を促すための地域企業等の魅力度アップや首都圏等の学生も受け入れて実施するインターンシップの強化、②新産業及び雇用の創出を図るための産学官連携拠点での

イノベーション推進や商品の販路拡大・ブランド化支援、③三陸復興の継続的取組や企業CSV活動と連携した地域創生活動、④起業家人材育成のための地域リーダーとの協創体験や人材育成道場の開催などに取り組みます。

このような取組を通じて、5年間で県内就職率の10%向上(平成31年度末時点における岩手県内の定着者数155名以上の増加)及び県内定着数増加分155名の10%にあたる16名以上を雇用する就業先の創出を目指します。

### 若者・女性地域定着Project

インターンシップ強化などで企業の採用を応援します

Action1-1 地域企業・団体の魅力向上

Action1-2 インターンシップの強化

Action1-3 地元大学進学率の向上

### 新産業&雇用創出Project

新たな産業、事業を創り出し雇用を生み出します

Action2-1 大学資源活用の産業創出

Action2-2 地域特産品の販路拡大・ブランド化支援

Action2-3 大学の知を活用した地方創生支援・人材育成

### 三陸復興&先導モデル創出Project

三陸の復興を通じて社会や産業の新しいモデルをつくります

Action3-1 復興人材の育成

Action3-2 なりわい・コミュニティの再生

Action3-3 被災地の産業振興支援

Action3-4 被災地先導モデル創出

### 起業家人材育成Project

新しいことにチャレンジする人材を地域に送り出します

Action4-1 地域リーダーとの協創体験

Action4-2 新事業への挑戦を支援

### 事業協働機関

#### 大学・高専

- 岩手大学 ●岩手県立大学
- 富士大学 ●盛岡大学 ●杏林大学
- 岩手県立大学盛岡短期大学部
- 岩手県立大学宮古短期大学部
- 一関工業高等専門学校

#### 経済・産業団体

- 岩手県商工会議所連合会
- 岩手県商工会連合会
- 岩手経済同友会
- 岩手県中小企業団体中央会
- 岩手県中小企業家同友会
- 岩手県農業協同組合中央会
- 岩手県漁業協同組合連合会
- 岩手県森林組合連合会

#### 自治体 ●岩手県

- 盛岡市 ●宮古市 ●大船渡市 ●花巻市
- 北上市 ●久慈市 ●遠野市 ●一関市
- 陸前高田市 ●釜石市 ●八幡平市
- 奥州市 ●滝沢市 ●矢巾町 ●金ケ崎町
- 岩泉町

## ふるさといわて創造協議会設立総会を開催しました

2月17日「ふるさといわて創造協議会」の設立総会がホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催されました。総会には「ふるさといわて創造プロジェクト」の事業協働機関33機関の代表者が出席し、協議会規約の制定について承認がなされたのち、会



長に岩淵明岩手大学長、副会長に鈴木厚人岩手県立大学長、達増拓也岩手県知事、高橋真裕岩手経済同友会代表幹事の3名が選任されました。また、平成27年度事業実施状況及び28年度事業実施方針案並びに参加高等教育機関と自治体との協定についても承認がなされました。

続いて、「地(知)の拠点大学による地方創生事業について～COCからCOC+へ～」と題し、文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室 永田昭浩課長補佐による特別講演が行われました。

「ふるさといわて創造プロジェクト」では、今後、高等教育機関、自治体、経済・産業団体が



連携し、県内学生の地元定着に向けた人材育成の取り組みを展開していきます。

協議会は、本プロジェクトの円滑な推進に向けての協議の場として、今後年1回の開催を予定しています。

## 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業とは

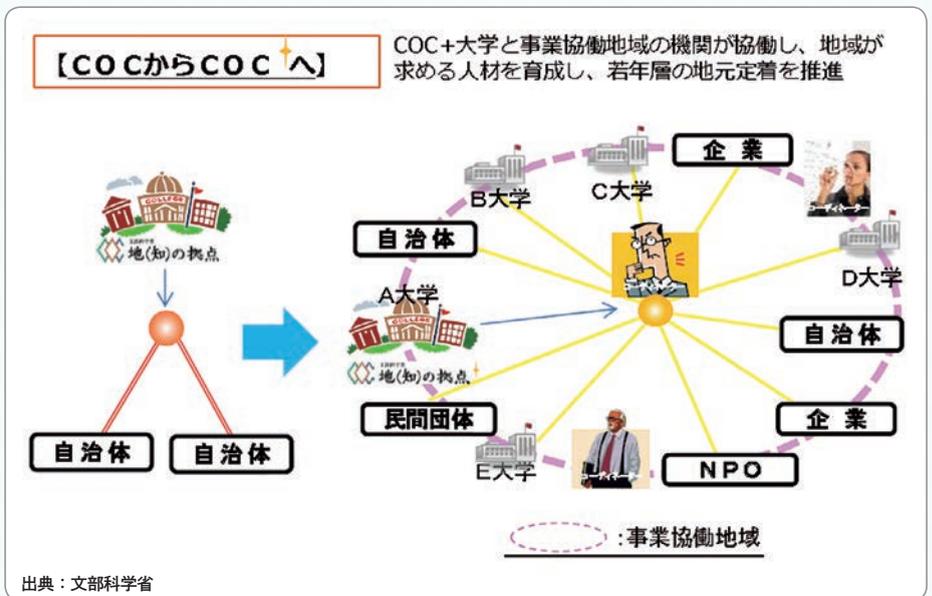
人口減少・超高齢化社会に伴う地域経済の縮小が進むなかで、地域を支える人材を養成する役割を担う地方大学には、魅力ある就業先や雇用創出を担う地方公共団体や企業等と協働し、地域で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化等といった地域課題の解決に寄与する役割が期待されています。

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)は、平成25年度から「地域のための大学」として、各大学の強みを生かしつつ、大学の機能別分化を推進し、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成に取り組んできた「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」を発展させ、地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とした事業です。

大学COC事業が「地域再生・活性化の核

となる大学の形成」を目的としているのに対し、COC+事業は「若年層人口の東京一極集中の解消」を目的としており、地域における複数の大学が、地域活性化政策を担う地方公共団体、人材を受け入れる企業や地域活性化を目的に活動するNPOや民間団

体等と協働し、当該地域における雇用創出や学卒者の地元定着率の向上を推進するとともに、その地域が必要とする人材を養成するための教育カリキュラムの構築・実施に取り組むものです。



## COC+推進コーディネーター紹介

昨年12月にCOC+推進コーディネーターを拝命しました小野寺純治と申します。

私は、25年間岩手県職員として勤務した後に、縁あって岩手大学で2003年から産学連携や地域連携の業務に携わってきました。岩手県職員時代は官の立場から産学官連携による地域振興を、大学に移ってからは学の見地から大学の知を地域と結びつける

活動を行ってきました。

この事業では、オール岩手の立場で学生の岩手への定着を図るだけではなく、学生が岩手で活躍できる場を構築するなど、若者が岩手を活性化していくための主人公とする舞台を整えていくことが使命と考えて皆さんと一緒に取り組んで参りますので、よろしくお願ひします。

